

## 地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

②,

鋼材年額二十万屯銑鋼一貫設備創設費調書

日本製鐵株式會社

日本標準規格 B 5 (182×257mm)

日本製鐵株式會社

鋼材年額二十万吨純鋼一貫設備創設費調

昭和二年七月 製鐵所

一、調査ノ基礎

本調査ハ商工審議會ノ參考トシテ三井鐵山局長ヨリ野田製鐵所技監宛「八幡又ハ九州ニ於テ鋼材二十万吨製造設備（銑鐵ヨリ鋼材迄）ヲ建設スル費用豫算」取調ベ方ノ依頼ニ基キ左記假定ヲ置キ八幡ニ於ケル製鐵所既設備費ヲ骨子トシ最近ノ諸機械購入費各種土木建築費等ヲ斟酌シテ調査計上シタルモノナリ

一、八幡ノ官設製鐵所及九州製鐵會社、戸畑ノ東洋製鐵會社等既設ノ製鐵鋼所以外ノ北九州方面ニ於ケル海岸地ニシテ現ニ田畑等ニ使用セラル、土地ニ創設スルモノト假定ス

二、二十万吨ノ鋼材ヲ製出スル爲メニ左記年間能力ノ中間設備ヲ施設スルモノト假定ス

イ、銑 鉄 二十万吨 對製品 一

日本標準規格 B 5 (182×257mm)



日本製鐵株式會社

ロ、鋼塊	二十八万吨	對製品	一・四
ハ、鋼片	二十五万吨	、	一・二五

銑鐵ヲ右ノ如ク二十万吨ニ限定スル場合ニハ年額約二万吨程度ノ  
 屑鐵ヲ外部ヨリ購入スルヲ要ス

三、鋼材二十万吨ノ品種別内譯ハ現今輸入狀況及設備ノ生産單位ヨリ  
 打算シテ大体左記ノ如クスルモノト假定ス

イ、中小形條鋼	九万吨
ロ、線材	八万吨
ハ、番物黑板	三万吨

尙以上二十万吨ノ銑鋼一貫設備ガ一單位トシテ果シテ設備費及作  
 業上ニ於テ適當ナルヤ否ヤ大ニ疑問トスル處ニシテ最近ノ八幡ノ  
 實例及鑄鐵爐、壓延機等ノ先進國ニ於ケル單位能力ヨリ見テ銑鋼  
 一貫ノ一單位トシテハ鋼材製造年額三十万程度ヲ最低トシ二十万  
 屯ト三十万屯トハ屯當リ設備費ニ於テ少クモ十五%、生産費ニ於



日本製鐵株式會社

テ大略五%程度ノ減額ヲ行ヒ得ベキモノト認メラル參考トシテ三十万屯設備費ヲ最后ニ掲グベシ

ニ二十万屯設備費ノ大要

設備費總合計

内

甲 銑鋼一貫設備費 二、三三五〇〇〇 屯當 一一一・六八

乙 土地、水道、築港、鐵道、動力等設備費 一、五八〇〇〇〇〇 屯當 七九・〇〇

甲 銑鋼一貫設備費内詳

一、製銑設備三百屯爐二基 五六五〇〇〇〇圓

銑鐵三〇〇、〇〇〇屯トシテ 屯當 二八・二五

二、骸炭竈及副產物捕集設備 三、三八五〇〇〇

骸炭二二〇、〇〇〇屯トシテ 一五・三九

三、製鋼設備六十屯平爐七基四百屯混銑爐一基 五、〇〇〇、〇〇〇

日本標準規格 B 5 (182x257mm)

四 分塊工場	二八〇〇〇〇 屯	三六〇〇〇〇〇〇 圓	一七・八六
五 中小形工場	二五〇〇〇〇	一四〇〇〇〇〇〇	一四・四〇
六 線材工場	九〇〇〇〇	一三〇〇〇〇〇〇	一五・五六
七 薄板工場	八〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇〇〇	一六・三五
小 計	三〇〇〇〇	二、三三五〇〇〇	六六・六七
乙 土地、水道、築港、築道、動力等設備費内譯			
八 土地二十万坪及整理費		三、三〇〇〇〇〇	
九 浚渫費、岸壁、船溜		二、五〇〇〇〇〇	
海岸起重機雜船等			

日本製鐵株式會社

日本標準規格 B 5 (182×257mm)

日本製鐵株式會社

一〇、鐵道及車輛 一、五〇〇,〇〇〇圓

一一、水道 遠賀川ヨリ一萬二千米ノ導管ヲ  
引キ貯水池ヲ置クモノトシテ 五五〇,〇〇〇

一二、發電設備 約一萬五千キロ 三、〇〇〇,〇〇〇

小計 一五、八〇〇,〇〇〇

序ニ右ノ内銑鋼一貫設備費ハ一屯當リ百十一圓六十八錢ニシテ歐米ノ  
モノニ比スレバ高價ナルモ本邦トシテハ寧口廉ナルヲ知ルベシ然ルニ  
附帶的經費ノ内土地ハ別トシテ築港、水道ノ如キハ例令バ獨逸ノ「ラ  
イン」河畔ノ如キ處ニテハ其大部分ハ之ヲ要セズ又發電設備ノ如キ北  
九州地方ニ於ケル宮崎縣下等ノ水力電氣ノ信賴シ得ベキ供給ヲ受クル  
ヲ得バ必ズシモ本新製鐵所内ニ發電所ヲ設クルノ必要ヲ認メザルモノ  
トス

假リニ又本設備ヲ製鐵所ノ埋立地ニ建設スルモノトセバ總額三百萬圓  
程度ニテ足ルヘク或ハ又隣接セル九州製鐵會社所有敷地内ニ建設スル



日本製鐵株式會社

モノトシテモ六百万圓程度ニ減額スルヲ得ベシ

三、三十万吨設備ノ大要

三十万吨鋼材製出ニ對スル中間設備能力及品種別内譯ヲ假定スル專左ノ如シ

イ、鑄	銑	三十万吨	對製品	一
ロ、鋼	塊	四十万吨	、	一・三三
ハ、鋼	片	三十六万吨	、	一・二
ニ、中小形條鋼		十二万吨		
ホ、線	材	十万吨		
ヘ、番物黑板		八万吨		
設備費總合計			四七六六三〇〇〇圓	屯當 一五八・八七

内

甲 銑鋼一貫設備費	二八三三八〇〇〇圓	屯當	九四・四六
乙 土地、水道、築港、鐵道、動力等設備費	一九三二五〇〇〇圓	屯當	六四・四二

日本標準規格 B 5 (182×257mm)

甲 銑鋼一貫設備費內譯

一、製銑設備 四百二十屯爐二基 七〇七〇〇〇〇圓

二、骸炭窯及副產物捕集設備 四六六八〇〇〇

三、製鋼設備 六十屯爐十基 四百屯混銑爐一基 六〇〇〇〇〇〇 屯當 一五・〇〇

四、分塊工場 三八〇〇〇〇〇

五、中小形工場 一、四〇〇〇〇〇

六、線材工場 一、三〇〇〇〇〇

七、薄板工場 四一〇〇〇〇〇

小計 二八三三八〇〇〇

乙 土地、水道、築港、鐵道、動力等設備費內譯

八、土地二十五万坪及整理費 四一二五〇〇〇

九、浚渫費、岸壁、船溜、海岸起重機、雜船等 三、二〇〇〇〇〇

日本製鐵株式會社

一、鐵道及車輛	三〇〇〇〇〇〇〇
二、水道設備	六〇〇〇〇〇〇
三、發電設備及送電一式	四〇〇〇〇〇〇
小計	一九三二五〇〇〇

日本製鐵株式會社

日本標準規格 B 5 (182×257mm)